

経営比較分析表（令和3年度決算）

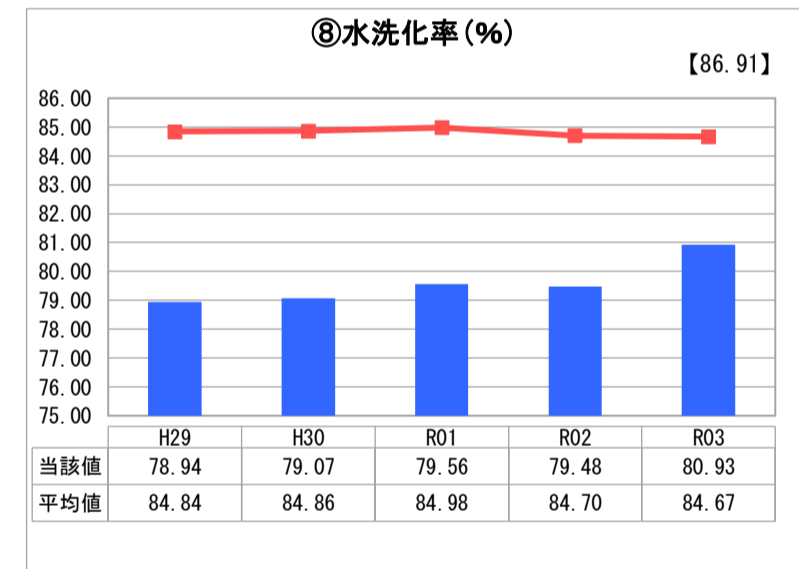
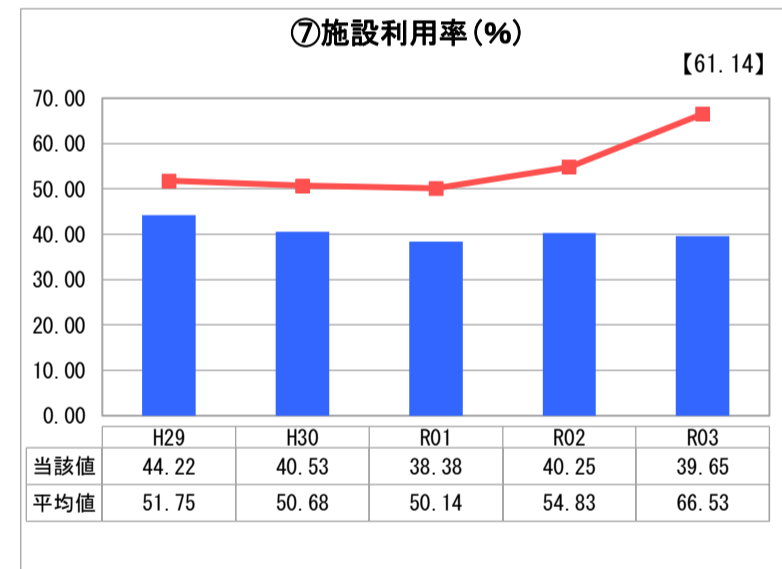
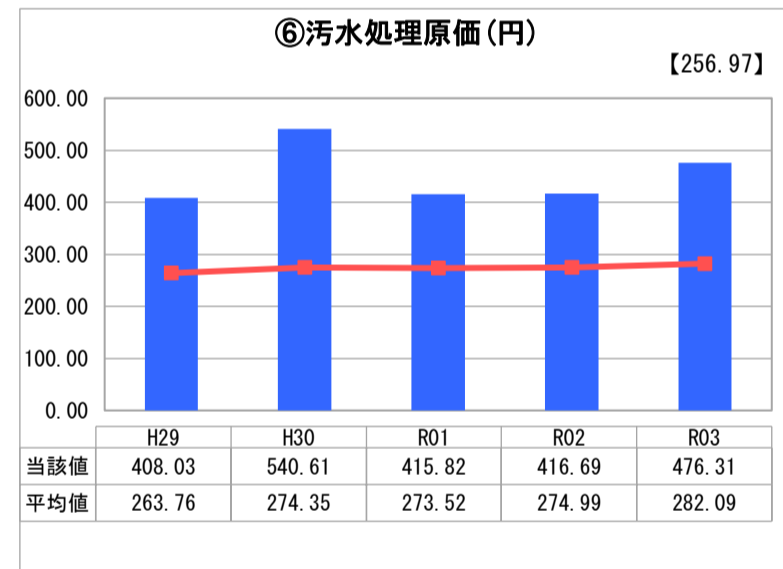
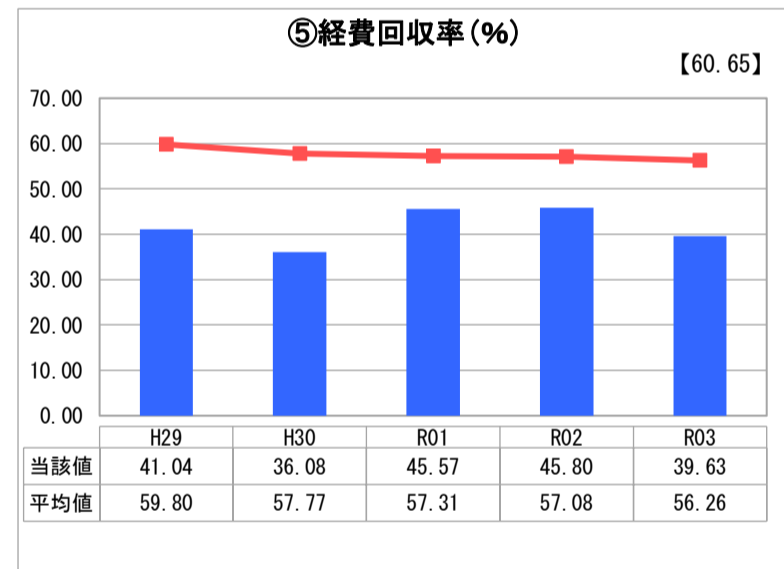
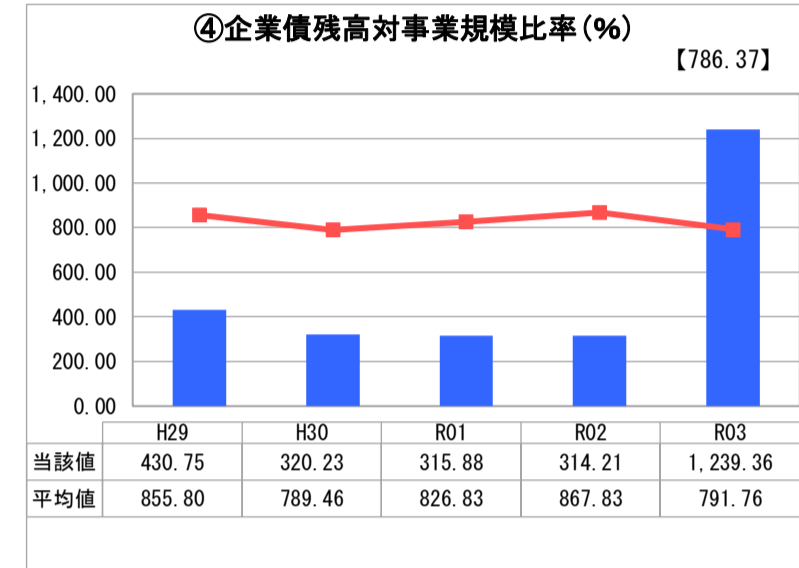
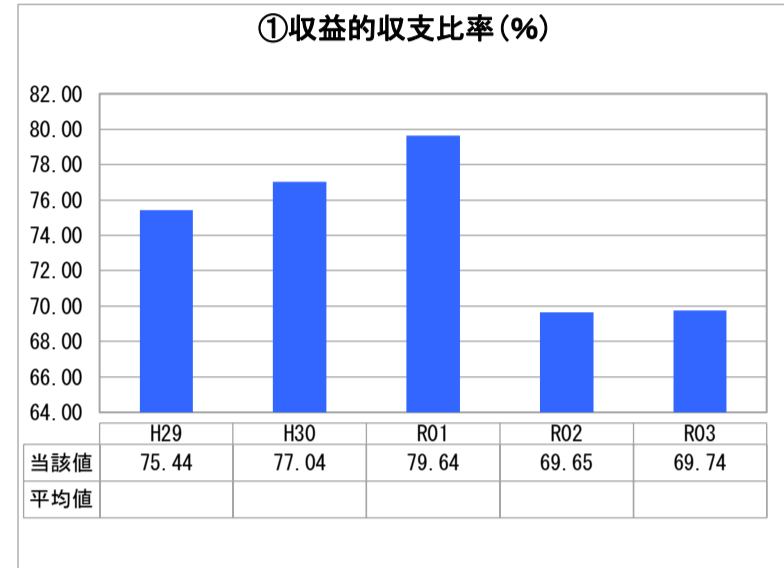
鳥取県 智頭町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	45.11	100.00	4,400

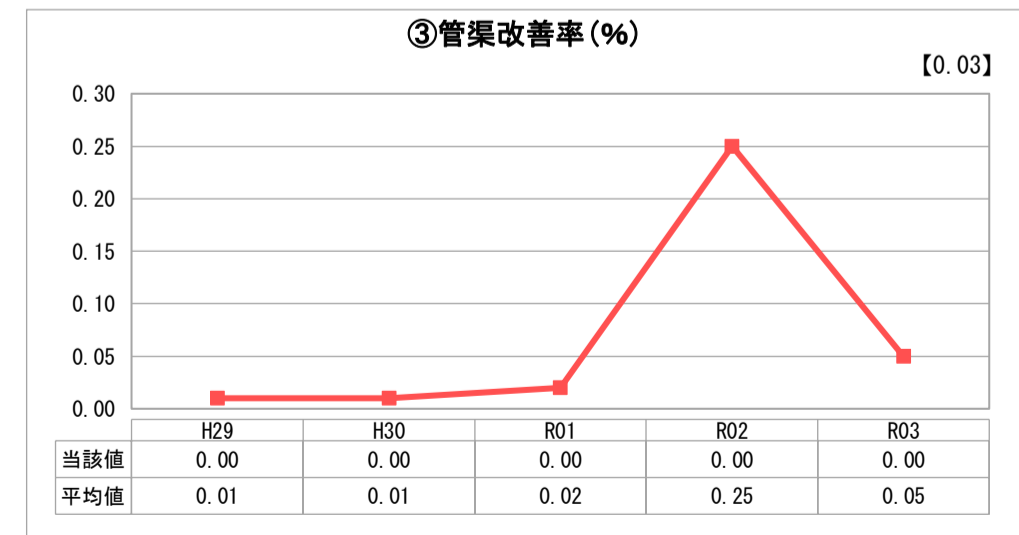
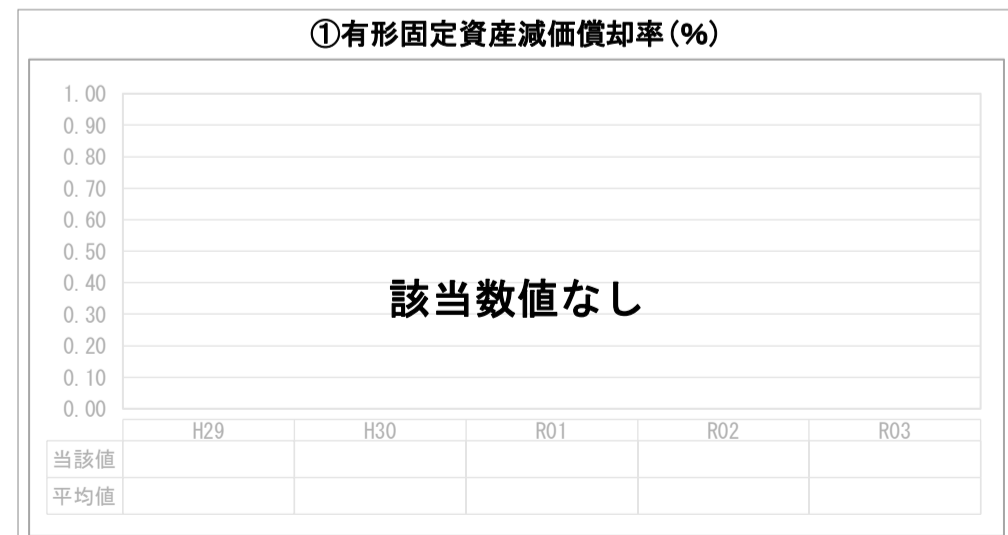
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,572	224.70	29.25
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
2,915	5.20	560.58

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【】	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

収益的収支比率(①)は、地方債償還額の増および総収益の減により前年度と横ばいになっている。さらに収支比率が100%を下回っていることから、地方債償還金が大きな負担となっている。

企業債残高対事業規模比率(④)は、一般会計負担額と営業収益の減額により例年より高い数値となっている。今後は機器更新が必要な時期となるため、注視する必要がある。

経費回収率(⑤)は、類似団体以下であり、費用の削減・経営改善が必要である。

汚水処理原価(⑥)は、前年より微増であり、類似団体以上の数値であるため、費用の削減・経営改善が必要である。

施設利用率(⑦)は、横ばいで類似団体と比較し低い値である。水洗化率(⑧)は平均以下ではあるが昨年よりも増加しているため、今後も接続率向上に向けた取組に力を入れ、施設利用率を上げるようにしたい。

2. 老朽化の状況について

管渠については、耐用年数に達しておらず緊急に更新する必要がないため、管渠改善率は低い数字で推移している。今後は耐用年数を考慮しながら改築更新を行う必要がある。

全体総括

汚水処理費用に対して、料金収入が少なく、経営は厳しい状況である。処理場建設後15年以上経過しており、今後修繕費用も多くなると思われるので、適正な維持管理を行い、経営指標の推移に着目しながら健全な経営を目指していきたい。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。